

令和6年度まちづくり懇談会 ちの地区

日時 令和6年10月1日（火）
午後7時00分～午後8時30分
場所 ちの地区コミュニティセンター

消防団でのアプリ導入検討について

意見要旨	説明・回答要旨
先日、分団長会議の中で市の職員から、DX化として、消防団で使用を検討しているアプリの紹介があった。しかし、現状の茅野市消防団ではとても活用できるものではなかった。導入する場合、年間の維持費など200万ぐらいかかるとのことだが、消防団員の意見を聞いたうえで、導入を検討してほしい。	(DX推進課長) 消防団のアプリの件は、消防署からご案内があったと思う。きっかけは、茅野市がデジタル田園健康特区の指定を受けている中で、何かアプリを活用いただけないかということで事業者から提案いただいた経過がある。アプリは、火災が発生したときにその位置が通知で確認できるもの。加えて、車両通行止めの状況等も出せるとのこと、消防団で活用ができればと思いご案内をさせていただいた。もし使い勝手が悪いということであれば、無理して使っていただく必要はない。ただ、その消防団のアプリと併せてまだ他にも普段の見守りの中などで使っていただける可能性もあったので、一緒に紹介をさせていただいた。

入区について

意見要旨	説明・回答要旨
区の人口も減り、高齢化が進み、転入してくる人は入区してくれず、区の存続が財政面から厳しくなっている。また、それを支えるべき役員もなり手不足。市役所でも茅野に来るときは必ず区に入って下さいと言ってもらいたい。コミュニティの最小単位である区に入らずして、市民と同じサービスを受けるのは、むしがるすぎる。やはり最低でも区に入り区費を払い、そこから受けられるサービスを享受をしてもらう。しかしそこには必ず義務が付きまとうので、必ず合わせて区の役を受けて一緒に自分の住むまちをつくるという発想を持ってもらえ人と住みたい。市政にそういうところを盛り込んでくれないか。	(市長) 市が強制的に入区しろというのは、基本的には難しいと考えている。昨年のまちづくり懇談会でも各地区、行政区で、人が少なくなっているところは少なくなっているなりにいろいろ工夫しているということも見受けられた。茅野市全体で見ると、区によって考え方や、やり方がそれぞれ違って、市としては口出しできない関係。もちろん入区については案内はするがなかなか難しい状況にある。ただ、その中でどうやって仲間を増やしていくかも考えていかなければいけないということで、今4つの区をモデル区とし、いろいろな試みをさせていただいている。

区の負担軽減について

意見要旨	説明・回答要旨
区役員の負担軽減と言うが、1つも減っていない。どんどん広報誌と配るものが増えている。	(市長) おっしゃる通りで今、広報ちのに加えて、例えば社会福祉協議会の広報や、いろいろな団体の広報を挟み込んで、お願いしている状況がある。これをできるだけ1つのものにまとめられないか検討を始めている。もう1つはデジタル化。ご高齢の方は今までどおりお配りしなければいけないと思うが、LINE等で良いご家庭もあると思う。段階的にそういう形ができればと考えている。 (パートナーシップのまちづくり推進課長) 広報ちのに掲載するものについて、ルール化して全庁で枚数が減らせるようにしている。また回覧版も枚数が増えているので、必要なものを回覧できるような取り組みもしている。また、モデル区でアプリを使った回覧版機能もあるので、そういったところを共有できれば。
区の仕事は大変で、草刈、区費収集、官報、広報の配布等もある。入区のメリット(減税等)を考えて欲しい。	(市長) 入区すれば減税は面白いアイデア。よくそういった「こんなことが」と思われるようなことは案外上手くいくことがあると思う。

ごみステーションについて

意見要旨	説明・回答要旨
ごみステーションの現状と課題を知りたい。	(美サイクルセンター長) 混在ゴミがステーションに残されるという課題について、アパートの管理会社に伺い、住人へのごみ分別の周知をお願いしている。また、各家庭にごみの分け方、出し方の手引き、また外国版のリーフレットを配布し、ごみの分別を呼びかけている。以前新聞報道された混在ゴミだが、一年経って改めて結果を確認をしたところ、混在ごみは数的にほぼ半減。ちの地区であつても半減、ほかの地区ではさらに減っている。ただし、まだ実際になくなっているわけではないので、新たに茅野市に来た方に対してゴミの分別を周知するために、今年3Rというアプリを導入した。こういったものを普及させることで、ごみの分別の取り組みを進めていきたい。

学区再編について

意見要旨	説明・回答要旨
学区の再編の問題、教育の全般のことについて色々な憶測がある。地域での説明会等も含め、いろんな会議でどういう形で進めているのかという報告や、これからのスケジュールを教えて欲しい。	(学校教育課長) 11月、12月ぐらいを目途に、各地区と地域対話を開こうと思っている。今おかれている茅野市の人口減少の問題、財政の状況、そういった様々な情報を提供する中で、地域の皆さんが今後の学校のあり方をどう考えていくのか、様々な地域で学校との結びつきは違うということを理解した上で、これから人口が減少していく様々な状況を加味したうえで、地域でどのようにしていくのかというのを、数年かけて、皆さんとお話していかなければいけないと思う。